



『お茶が運ばれてくるまでに〜A Book At Cafe〜』  
 『夜が運ばれてくるまでに〜A Book in A Bed〜』  
 『答えが運ばれてくるまでに〜A Book without Answers〜』  
 文：時雨沢恵一 絵：黒星紅白  
 発行：アスキー・メディアワークス  
 各定価：¥530（税別）

注文したお茶が運ばれてくるまで。夜が来てからベッドで眠りにつくまで。抱える悩みや迷いに対する答えが見つかるまで。そんな短くて長いひとときのためにこれらの本は書かれている。とても短い詩集であるが、その短い詩の一つ一つが心に残る。詩そのものだけでなく、一つ一つの詩に添えられた挿絵が詩の味わいを更に深め、読者を惹きつけてやまない。故に私はこれらの本をあえて「絵本」と呼びたい。

詩と挿絵が読者に伝える内容は一つ一つで異なり面白い。その中でも私の印象に強く残っているのは、東日本大震災を受けて描いたであろう「たんじょうび」（『答えが運ばれてくるまでに〜A Book without Answers〜』より）である。この詩は震災により余儀なくされた変化を誕生と捉え直し、「産まれた人は、最初は泣いてばかりだけど、やがて立ち上がり、歩き始める」という力強い締め括りで私たちの心を鼓舞してくれる。他にもきれいごとにとどまらず、社会風刺や人生観といった難しいテーマを掲げている話もある。しかしそのどれもが、私たち読者に大切なことを気づかせてくれる。一度読むと心に染み込み、何度でも読み返したくなる。



答えを探す

ドキリとする

胸が痛む

納得する

ウルツとする

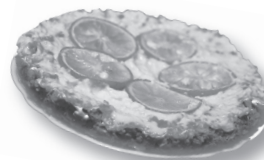
元気になる

あなたに運ばれてくるまでの本のひととき

忙しい毎日の中、ふと訪れるちょっとしたゆとりの時間。寂しいとき。悲しいとき。疲れたとき。これらの本は、お茶のような温もりや、夜のような切なさや、答えのような手がかりを、あなたにきっと届けてくれるだろう。（たかし）



## レモンタルト



### 材料

卵	1個
牛乳 (A)	200ml
牛乳 (B)	大きじ2
砂糖	大きじ1
小麦粉	大きじ2
レモン	1個
レモン汁	出た分だけ
クッキー	100g

### A. カスタードクリーム

- 鍋に卵・砂糖・小麦粉を入れて混ぜ、そこに牛乳 (A) を少しずつ混ぜ加える。
- レモンをスライスする。切る際に出た果汁もとっておく。
- ①を中火で火にかけ、途中でレモン汁を混ぜながら少し重たく感じるまで混ぜ続ける。

### B. タルト

- クッキーを粉々にし牛乳 (B) を加えてこねる。ひとまとまりになったところでアルミホイルを敷いた深皿に敷き詰める。
- 冷めた③を④のタルト台の上に乗せる。その上から②のレモンスライスに乗せる。
- 温かく食べなければ電子レンジ (500W) で5分程度温め、冷たく食べなければ冷蔵庫で30分程度冷やせば完成。

はみだし  
すてーじ

らいふすてーじって図書館に所蔵されているんですね！  
⇒そう！ そうなんですよっ！！

(教・4 なた)  
(※編集部員の大半が知らなかったことは秘密です★；編)